

“人間と性”教育研究協議会（性教協）・全国障害者問題研究会（全障研）沖縄支部共催

沖縄性教育セミナー

いま、学校で、家庭で、地域で子どもたちの性と生をめぐる状況は深刻になっていることは多くのおとなたちが感じています。子どもたちは自らの性をどれくらい知っているのでしょうか。性はだいじなことといいながら、本当に真正面から子どもたちに性と生＝セクシュアリティについて学ぶ場を、学校・家庭・地域で保障しているといえません。子どもたちのさまざまな性行動と性意識をおとなたちはどう受け止め、どのようなメッセージを送ろうとしているのでしょうか？性教育の基本を学びあい、それぞれの現場で実践に足を踏み出すために語り合い交流します。

午前中は、全体会で講演とパネルディスカッション、午後に6つの分科会と4つの講座を企画しています。障害児の性教育、小中高での性教育、親子で学ぶ月経・射精の模擬授業、性の電話相談スキルアップ講座、児童福祉施設や保育所でのとりくみ、地域のなかでの専門職の連携のあり方、デートDVと性暴力など、多岐にわたるテーマを準備しています。

いまこそ子どもと時代のニーズに応じた性教育を創り、沖縄における性教育の可能性をみんなで探してみたいと思います。丸1日を通しての充実した企画です。こうした機会は沖縄ではめったにありません。どうぞお誘い合わせの上、ご参加いただけることを心よりお待ちしております。

沖縄性教育セミナー実行委員長 嘉手川重常（大平特別支援学校）

日時：2012年2月19日（日）9時～16時30分

会場：沖縄国際大学（3号館・午前）（5号館・分科会講座）

参加費：2000円（学生500円）

時間	プログラム
9:00～	受付開始（3号館別館・105教室）
9:30～10:50	講演「子どもの性と性教育はいま～子どもの現実・世界の流れ・実践へのチャレンジ～」 浅井春夫（立教大学教員・“人間と性”教育研究協議会代表幹事）
11:00～12:30	パネルディスカッション
12:30～13:30	昼食（当日、弁当の販売はしませんので、各自ご持参ください）
13:30～16:30	分科会 及び 講座（5号館）
講師紹介	浅井春夫（立教大学教員・“人間と性”教育研究協議会代表幹事） 東京の児童養護施設で12年間、児童指導員として勤務する。立教大学コミュニティ福祉学部教員。専門分野は、児童福祉論、セクソロジー。2011年4月～12年3月まで、沖縄国際大学・沖縄大学地域研究所の研究者として、沖縄で研究をすすめている。テーマ：「沖縄における戦後社会福祉労働状態史の研究」 著書：浅井・杉田・村瀬共編『性の貧困と希望としての性教育』（十月舎、2009年）、『脱「子どもの貧困」への処方箋』（新日本出版社、2010年）、浅井編著『児童福祉施設・児童相談所・学校 子どもの暴力対応実践マニュアル』（建帛社、2011年）など。

「豊かな性教育をつくるために」

～子どもが求める性教育VS親が期待する性教育～

パネリスト①嘉手川重常（大平特別支援学校寄宿舎指導員）

②安達倭雅子（電話相談員・性教協幹事）

③笹良 秀美（助産師・思春期保健相談士）

④佐藤 明子（性教協代表幹事・武蔵野美術大学講師）

コーディネーター：船越 裕輝（大平特別支援学校教員）

<主な内容>

①

② 今、性の学習権を奪われたままの日本の子どもたちの凄惨な混迷は、電話相談の中にも流入して止みません。

③

④ 子どもたちは性について、具体的で役に立つ知識を求めている。それが自己肯定観を築き、他者と共生していく力となると思われる。



第1分科会 保育園・幼稚園での性教育

レポートA「保育における性の現状と課題」 上地旬子（愛泉保育園保育士）

レポートB「未定」（学童保育指導員）

コーディネーター：ウィンフィールドひろみ（沖縄保育問題研究会・グッピー保育園園長）
幼児期の子どもたちの性的な発達の実際と、こんな性教育だったらできるねと、フランクな話し合いをします。

第2分科会 思春期（小学校・小学部）での性教育

レポートA「自己肯定感を高めるための保健体育・道徳の授業」

玉城和樹（沖縄市立美里小学校）

レポートB「未定」 泉川りつ子（フリー助産師）

レポートC「知的障がい児学校小学部での性教育の実践」 船越裕輝

コーディネーター：船越裕輝（大平特別支援学校教員）

思春期入り口の子どもたち性の課題について出し合い、性教育の実践の中で、何をねらい、何をどう語るのか、を考えていきます。

第3分科会 中学・高校での性教育

レポートA「養護教諭による保健の授業での性教育実践-望ましい行動選択を目指して-」
喜瀬実名子（糸満高校養護教諭）

レポートB「“性行動に伴う結果を見通す力”を育む性教育実践」
-校内職員によるカフェテリア方式の活用-島村美由紀（沖縄工業高校養護教諭）

レポートC「養護教諭による中学校における性養育の実践」
神谷和美（知念中学校養護教諭）

コーディネーター：笹良秀美（助産師・思春期保健相談士）

思春期まっただ中の中・高生達。今、性について何を思い、何を語っているのか…。沖縄の子どもの現状を現場にいる先生たちと考えてみませんか？

第4分科会 児童福祉施設での性教育

レポートA「施設での性教育の基本」 内藤茂（島添の丘・児童指導員）

レポートB「性的問題行動への対応のあり方」 浅井春夫

コーディネーター：浅井春夫（立教大学教員・性教協代表幹事）

性的問題行動への対応のあり方と施設での性教育の基本を講義形式で学び、現場の実践レポートを交えて交流します。

第5分科会 障害児者の性を考える

レポートA「障害児・者の性課題における地域のつまずき」
津波古悟（広域相談支援センターfit）

レポートB「未定」（特別支援学校教員）

コーディネーター：嘉手川重常（大平特別支援学校寄宿舎指導員）

性の課題を捉え直し、実践的にアプローチしていけるように、みんなで考えます。

第6分科会 専門職の連携による実践・地域の連携

レポートA「未定」 新垣治恵（中頭教育事務所）

レポートB「性の健康の視点から」 赤嶺美保子（産婦人科助産師）

コーディネーター：比嘉昌哉（沖縄国際大学教員）

現在、学校現場においては、性に関する様々な問題が生じている。そのような問題に対しては、学校という枠にとらわれず、専門職間の“つながり”が求められる。本分科会では、養護教諭、スクールソーシャルワーカー、保健師（助産師）などの報告から、関係者間の連携の重要性について論議していく。

講座① 親子で参加（月経・射精の模擬授業）
講師：佐藤明子（性教協代表幹事・武蔵野美術大学講師） 月経・射精について、“あっ！そうだったのか”と新たな視点での学びができる模擬授業。親子で参加大歓迎！
講座② 電話相談のスキルアップ講座
講師：安達倭雅子（電話相談員・性教協幹事） 講義形式で性の電話相談のポイントを学び、ロールプレイを交えての実践的で明日からの仕事に役立つ実力アップの講座です。
講座③ 障害者の性を考える
講師：島尻澤一（NPO法人障害児者の問題行動の支援センター管理者及び所長） 「施設における性的人権を育てる」という観点から性教育の実践を一緒に考えていきます。
講座④ デートDV・性暴力の実際と性教育の課題
講師：関口久志（京都教育大学教育支援センター准教授） 性暴力（DV）の実例を出し、性教育の課題をみんなで一緒に考えます。

＜申し込み方法＞→申し込みは「メール」か「FAX」でお願いします

- ※参加費は当日、受付でお支払いください。領収書の必要な方は申し出てください。
- ※メールの場合は、①住所及び連絡先②氏名（ふりがな）③所属（ありましたら）④希望分科会番号及び講座番号（第1希望・第2希望）の記入をお願いします。

seminar2012219@yahoo.co.jp F A X 098-895-3147

- ※FAXの場合は、下記の申込用紙を記入されて、そのまま送信してください。
- ※参加希望分科会及び模擬授業、講座は教室の都合上、**30人程度**です。申し込み順となりますので、ご了承ください。
- ※「希望分科会」や「希望講座」が定員に達した場合、折り返し連絡いたします。

沖縄性教育セミナー参加申込書

① 住所または 連絡先（電話番号）	
② 氏名 （ふりがな）	
③ 所属 （ありましたら）	
④ 希望分科会番号 及び希望講座番号	第1希望（ ） 第2希望（ ）
お問い合わせ先：船越裕輝（ふなこしゅうき）090-2858-5995（1/1～2/19迄）	